

令和6年度（数学Ⅲ） シラバス

教 科	数学	科 目	数学Ⅲ		
単 位 数	3	学 年	3	類 型	理系
教 科 書	高等学校 数学Ⅲ（数研出版）		副教材	4プロセス（数研出版）	
学習目標	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	第1章 関数 第2章 極限 第3章 微分法 第4章 微分法の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・分数関数や無理関数の性質を理解し、方程式や不等式に活用できるようにするとともに、逆関数や合成関数などについて理解し、活用できるようにする。 ・数列や関数の極限について理解し、それらを様々な関数の考察に活用できるようにする。 ・導関数の定義や公式から、いろいろな関数の導関数を導き、それを用いて関数が微分できるようにする。また、陰関数や媒介変数で表された関数の微分もできるようにし、それらを活用できるようにする。
2 学期	第5章 積分法とその応用	<ul style="list-style-type: none"> ・導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにするとともに、積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。 ・様々な関数の不定積分、定積分を求められるようにする。また、定積分を面積として捉え、様々な事象の考察に活用できるようにする。
3 学期		

評価の観点及び内容、評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・確認テスト
思考・判断・表現	数学を活用して事象を論理的に考察する力、本質や他との関係を認識し、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・確認テスト
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・確認テスト ・ノートや課題 ・自己評価